

～ 3.11 私たちはわすれない ～

岩手県ユニセフ協会設立 15 周年記念式典・東日本大震災緊急復興支援報告

アグネス・チャン大使講演会



2016年3月27日、盛岡市民文化ホールで県ユニセフ協会15周年記念イベントが開催され、600名が参加。東日本大震災から世界につながる子どもたちの笑顔と、ユニセフ活動にふれた感動的なひとときとなりました。

記念式典のオープニングに登場した大槌町雁舞道七福神会の子ども七福神おどり、三浦宏会長(岩手日報社代表取締役会長)の挨拶、来賓として岩手県知事達増拓也氏、盛岡市長谷藤裕明氏(代理副市長佐藤光彦氏)、(公財)日本ユニセフ協会専務理事早水研氏からご挨拶をいただきました。

式典では、県ユニセフ協会の活動報告、長年県ユニセフ活動にご協力いただいた学校・団体に感謝状を贈呈しました。

(盛岡市立上田小学校、盛岡市立河南中学校、花巻市立南城中学校、岩手県立不来方高校音楽部(イタリア演奏旅行中)、盛岡大学生生活協同組合学生委員会、盛岡レオクラブ、盛岡市ウォーキング協会)



大槌町雁舞道七福神会の子ども七福神おどり



岩手県ユニセフ協会会長三浦 宏 挨拶



来賓 岩手県知事達増拓也氏



来賓 盛岡市長代理 副市長佐藤光彦氏



来賓 (公財)日本ユニセフ協会専務理事早水 研氏



感謝状贈呈

東日本大震災緊急・復興支援報告では、(公財)日本ユニセフ協会東日本大震災緊急支援本部東北代表、学校事業部長 水野眞里子氏からの報告がありました。



～ 世界の子どもたちと東日本大震災 ～

アグネス・チャン大使講演

歌手・エッセイスト・教育学博士

1998年、日本ユニセフ協会大使に就任。以来、タイ、スーダン、東西ティモール、フィリピン、カンボジア、イラク、モルドバ共和国と視察を続け、その現状を広くマスコミにアピール。

2016年3月、ユニセフ・アジア親善大使に就任。

アグネス・チャン大使講演のオープニングに登場した大槌キッズコーラス♪あぐどまめとキャラホール少年少女合唱団の子どもたち総勢100名。震災から5年間、ふれあい交流でつながった合唱でした。

アグネス・チャン大使は、日本ユニセフ協会大使として視察した、タイ・南スーダン・中央アフリカ・フィジーで出会った、貧困や紛争の中で生きる子どもたちの状況をお話されました。人身売買や少年兵のことにふれ、ユニセフの支援をお話されました。

東日本大震災では、たびたび岩手県を訪れ被災された方々を励ましてきました。その時に出会った女の子のお話は、涙を誘いアグネス・チャン大使のやさしさを感じるものでした。これからもユニセフ・アジア親善大使としてのご活躍をお祈りいたします。



最後に出場した子どもたちと「ふるさと」を、会場のみなさんと大合唱し、あたたかく、感動的な15周年イベントを締めくりました。閉会挨拶する加藤善正副会長